

2022年3月23日

各位

アストモスエネルギー株式会社

## 二酸化炭素の回収及び資源化事業への参画について

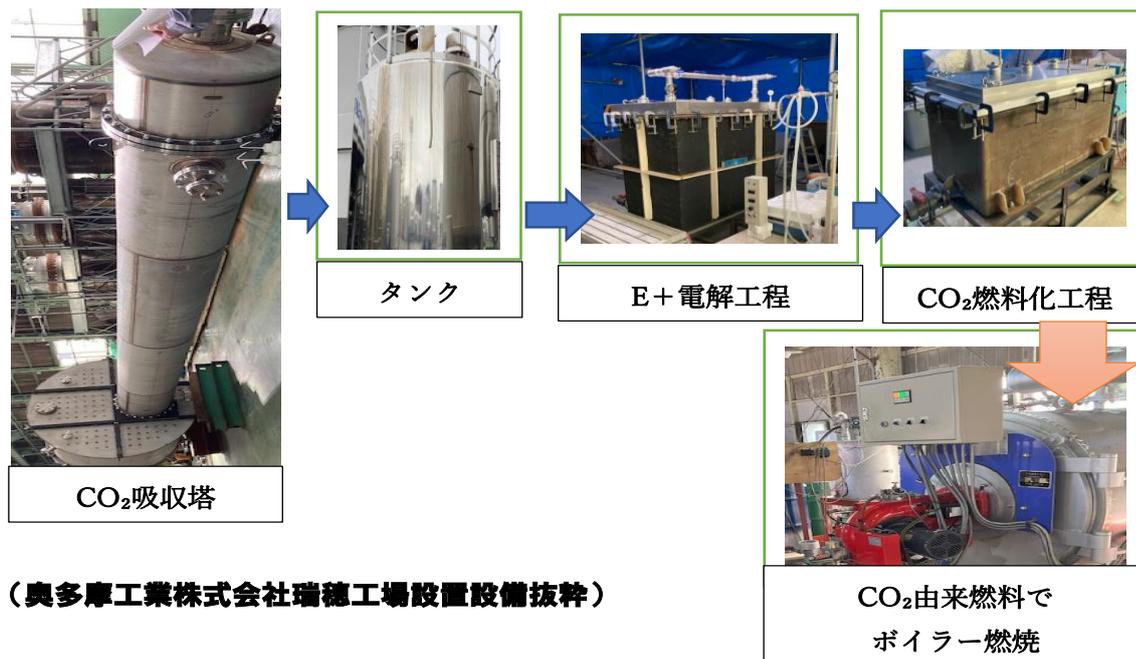
アストモスエネルギー株式会社（本社：東京都千代田区 社長：小笠原 剛、以下「当社」）は、二酸化炭素の回収及び資源化に取り組んでいるベンチャー企業、株式会社 E プラス（本社：大阪府高石市 社長：廣田 武次、以下「EP 社」）に出資し、EP 社の CCFR\*1 技術（二酸化炭素回収・資源化循環）及び DAC 技術（C ガード\*2 による Direct Air Capture: 大気中二酸化炭素の回収・再利用）を活用した二酸化炭素の回収・有効利用に関する業務連携を進める事に合意しました。

世界的な脱炭素化への潮流が加速する中で、EP 社は環境負荷低減システムの開発事業者として、当社は液化石油ガスの輸入元売及び国内販売事業者として、二酸化炭素の回収・有効利用を推進し、環境負荷の少ない事業形態を模索すると共に、社会問題の解決・脱炭素化に貢献する新規事業の立上げを喚起することを目的に、本資本業務提携を開始します。

\*1:CCFR とは、「Carbon Dioxide Capture Fuel Recycle」の頭文字で、二酸化炭素をアミン溶液で吸収した後、当該吸収液を EP 社の特許技術で加工することで液体燃料として資源化できる技術です。分離・回収の手順を必要とせず、二酸化炭素を資源化できる点が優れた特徴の一つです。

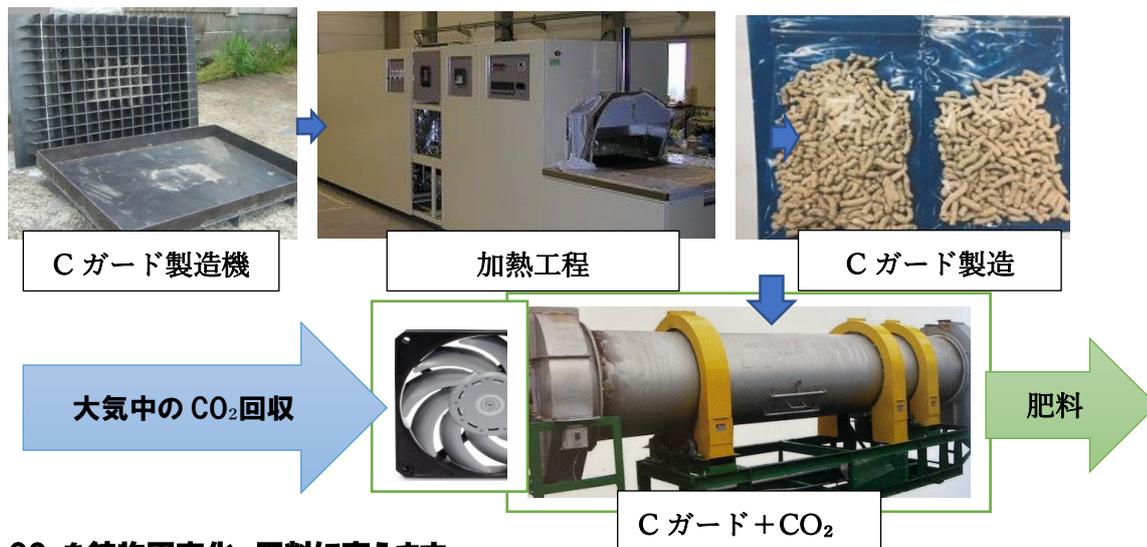
\*2:C ガードとは、大気中もしくは排ガス中の二酸化炭素を、水酸化物と反応させることで、鉱物固定する製品で、二酸化炭素吸収後の炭酸鉱物は、肥料としての再利用を検討しています。

### 【CCFR フローイメージ図】



（奥多摩工業株式会社瑞穂工場設置設備抜粋）

## 【C ガード技術と DAC 法の組み合わせイメージ】



CO<sub>2</sub>を鉱物固定化、肥料に変えます。

## 【E プラス社概要】

- 社名 : 株式会社 E プラス  
設立年月 : 2012 年 5 月  
住所 : 大阪府高石市西取石 7 丁目 13-30  
代表者 : 廣田 武次  
事業内容 : 環境汚染対策技術開発  
(二酸化炭素燃料化・二酸化炭素資源化技術・放射能汚染対策技術・  
地盤改良材製造販売・水素製造技術・その他環境汚染対策)

以上

### 【本件に関するお問い合わせ先】

人事総務部 進藤 電話:080-8435-2515

e-mail: kuniaki.shinto@astomos.com

URL:<http://www.astomos.jp>